

家族みんなで楽しめる 町の魅力が溢れた一日

第32回産業祭

11月11日(日)、総合運動公園で第32回産業祭が行われ、肌寒い中昨年よりも1千人多い、約1万人が来場しました。品評会や地元で採れた野菜直売、体験型ブースなどが出店し、家族連れが楽しむことができる催しが満載でした。



↑射的を楽しむ子どもたち。

(写真大) 体験ブース“微生物観察”(左下) キャラクターのお面を見ると懐かしさを感じます
(下中央) 三芳が誇るほうれん草。品評会場にて (右下) 地産地消。野菜直売の様子



町で行われたイベントや活動をお届けします！広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げますので、政策秘書室にご連絡ください。
【問い合わせ】政策秘書室秘書広報係 ☎049-258-0019(内線314)

いっぱい食べて いっぱい遊んだ一日

第24回福祉まつり

11月25日(日)、藤久保公民館、藤久保小学校校庭などで「福祉まつり」が開催されました。当日は快晴に恵まれ、多くの人で賑わい、会場ではバザー、福祉体験、食べ物の販売など、来る人を飽きさせない催しがいっぱいでした。



↑子どもたちが募金活動を行っていました。

(写真大) おいしいカレーうどんも販売
(左下) 車いす体験をする子どもたち
(下中央・右) 福島県の仮設住宅に住む人たちが作ったたわしと販売する子どもたち



つながっぺ！おおくま！

→ 渡辺町長(左)と林町長(右)が握手。継続した支援を約束。



11月27日(火)、渡辺利綱大熊町長が来庁しました。大熊町は、福島第一原発から半径20km圏内にあり、現在も帰宅ができず、会津地方を中心に住民が避難生活を強いられています。住民の心のケアのため、三芳町では保健師派遣などの支援を行っており、今後も町としてできる支援を続けていきます。

次代を担う地域の子どもたちへ

→ とても素敵なパンジーが教員長に手渡されました。



三芳町の農家が集まり、花を育てることで、自然環境と農業の大切さを知ってほしいとの思いから発足した「三芳町緑と土地を守る会」。11月16日(金)、町内小中学校にパンジーの苗を寄贈するため、会の皆さんが来庁しました。子どもたちは、パンジーの苗を育て、生育の過程を体験し、花が咲いた時の喜びを感じることでしよう。

↓「ありがとう」の文字が入った手作りの首飾りを町長にプレゼント。



いつもお仕事ご苦労さま！ 町内3つの幼稚園が職場訪問

11月23日(金・祝)の勤労感謝の日に合わせて、11月21日(火)にみふじ幼稚園の子どもたちが、11月22日(水)にはこすず幼稚園、かみとめ幼稚園の子どもたちが三芳町役場を職場訪問に来ました。「将来、三芳町で働くにはどうすればよいのですか？」と職員へ質問。「いっぱい勉強して、いっぱい運動していい子にしているとになれると思うよ。」と職員が教えてくれました。

よいしょ！の音が響き渡る 竹間沢児童館餅つき大会

11月17日(土)、「よいしょ！」の掛け声が竹間沢児童館に響き渡りました。大人、子ども合わせて約30人が参加した餅つき大会。ボランティアの皆さんの協力を得て開催されました。子どもたちは力いっぱい臼に杵を打ち付け、お米が餅に変わっ



ていく様子に興味津々。出来上がった餅はお雑煮、きなこ餅にしておいしく食べました。

↑自分でついた餅はちょっといつもよりもおいしいね。

↓コーラス部「けやき」。名曲「見上げてごらん夜の星を」を熱唱。



明るい未来に向かって 30周年 高齢大学祭

30周年を迎えた「高齢大学」。今回は「明るい未来に向かって、高大のパワーを！」をスローガンに、11月18日(日)、藤久保公民館でふじくぼ教室・高齢大学祭が開催されました。日ごろの練習の成果を発揮するとき。ステージ部門、フロア部門に分かれたクラブ発表では年齢を感じさせない力強い演奏や歌唱が披露され、来場者は大きな拍手を送っていました。